社説

財政整理の一法

財政整理の爲めに增稅の已む可らざるは明白の事實にして我輩が熱心に其斷行を主張する所以なれどもいよ〳〵增稅の曉に其收入の費途に就ては大に注意を加へざる可らず前內閣は第十二議會に提出したる增稅案に於て三千百萬餘圓の增收を謀りたる他の一方には收入の內より七百萬圓を割て公債の償還に充て普通の償還額と合せて三十二年度以後年々千四百萬圓の償還を行はんとしたれども此の如きは全く無用の經費にして增稅案が世間の攻擊を招きたるも此邊の欠點ありたるが爲めに外ならず當時財政の當局者が公債の償還を增加するの必要を認めたるは之に依て金融市場に資金を供給して逼迫の勢を緩和すると同時に外國の資本家に我國財政の餘裕を示して公債の賣出しに便宜を與へんと云ふに外ならざりしかども目下の金融逼迫は期る區々たる小策に依て緩和し得べきものに非ず實際に何の効能を見る能はざるは日本銀行の公債買入れと異なる所なかる可し又外資を輸入するに當て財政の基礎を鞏固にして外人の信用を增進するの必要は疑を容れざる所なれども此邊の目的を達せんとならば完全なる稅法に依て確實に收入を得るの道を開くみを適當の手段にして妄に公債の償還を增すが如き却て信用を傷くるの掛念なきに非ず現に外國資本家の內にて我國の公債を買入るゝ者を見るに其目的は永く高利を收めんとするにあれば據置年限の永きを望むの常にして即時に償還に按するなどは敍等の甚だ喜ばざる所なりと云ふ此邊の事情をも顧みず前內閣の當局者が公債の償還を增して外國の資本家に信用を買はんと企てたるが如きは非常の誤解にして公債の賣出しに依て外資を輸入せんとならば公債發行例に改正を加へて償還年限を永くすると同時に金貨償還の旨を約束して外國市場に信用を博す可きのみ新內閣の當局者は卅二年度の豫算を編成するに當て此點に就て如何なる方針に出づ可きや償還高の增加は一部の實業家が熱心に希望する所にして或は當局者に於て此輩の所說を容るゝやも知り難けれども我輩の所見を以てすれば明年以後一切公債の償還を停止して歲計の餘裕を謀るみを目下財政の實際に鑑して必要なりと信ずるものなり前內閣の財政計畫に據れば三十二年度の償還額は千四百萬圓の豫算にして斷然償還を停止するときは歲計に剩餘の餘裕を生ずべきも以て二千萬圓[illegible]に依て[illegible]の階級費を節減[illegible]

[illegible]

[illegible]